

静岡市 総合交通計画

集約連携型都市構造をささえる総合的な交通体系の構築

Q 総合交通計画とは何ですか？

A 移動が便利なまちづくりを進めるための計画です。

ひとが
歩いて楽しい

ひとが公共交通に
乗りやすい

ひとが自転車に
乗りやすい

ひとが
出会える

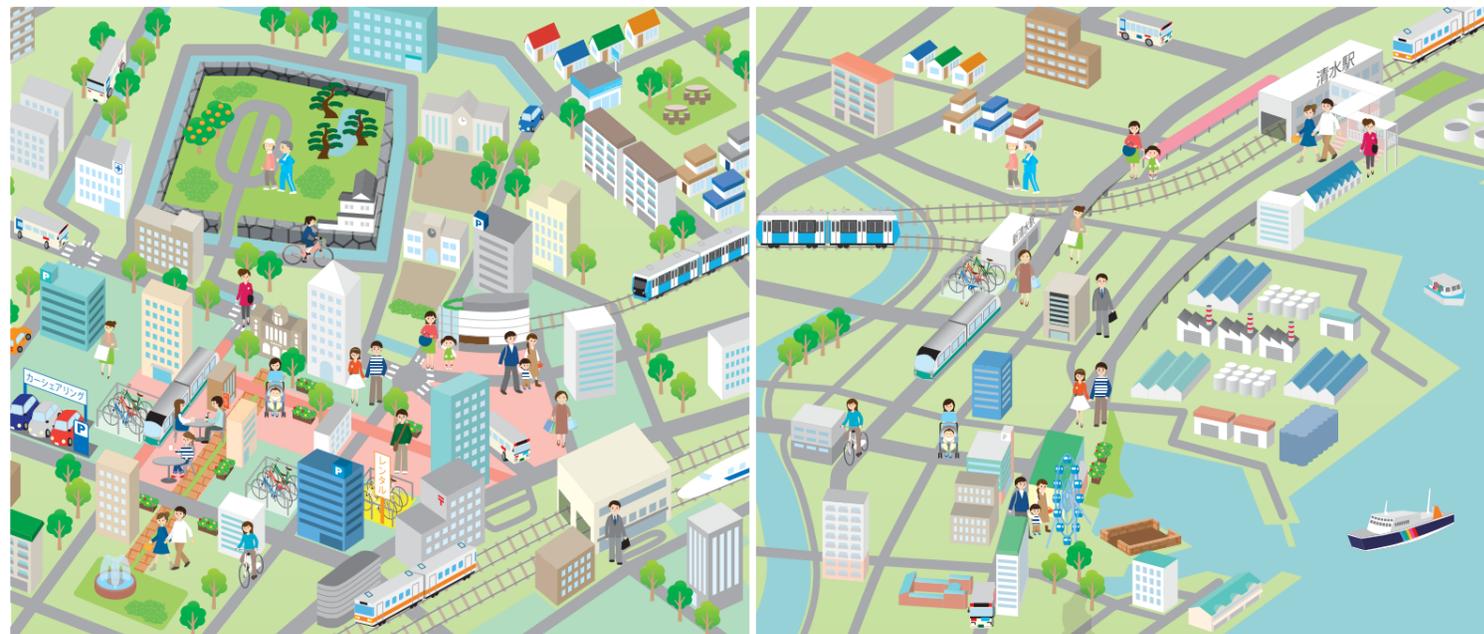
…そんなまちをめざす計画を
掲げています。



詳しく説明

静 岡市を取り巻く環境は、人口減少や高齢社会の進展による社会情勢の変化に加え、新東名高速道路の開通や中部横断自動車道の整備などの、大規模な社会資本整備の進展に伴う都市交通体系の複雑化、市町合併による都市構造の変化など、急激に変化しています。また、平成25年度には、交通政策に関する基本理念やその実現に向けた施策、国や自治体等の果たすべき役割などを定める交通政策基本法が制定されています。このようなことから、静岡市都市計画マスタープランの改訂や立地適正化計画の検討など、将来の目指す都市構造やまちづくりの方針を踏まえた総合的な都市交通体系の再構築が急務となっています。

そ こで、第4回静岡中部都市圏総合都市交通体系調査結果及び提案を踏まえるとともに、静岡市総合計画で掲げる「世界に輝く静岡」の実現に向け、集約連携型都市構造をささえる総合的な交通体系を構築し、「ひとが歩いて楽しい」、「ひとが公共交通に乗りやすい」、「ひとが自転車に乗りやすい」、「ひとが出会える」まちをめざすため、静岡市総合交通計画を改訂します。

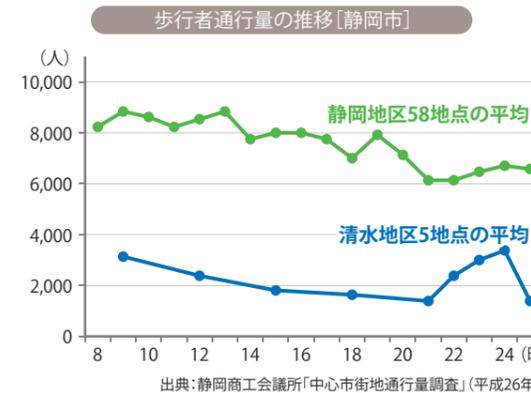


静岡市の現状

静岡市では、人口減少や市街地拡散が進むとともに、下記のような問題が出てきています。

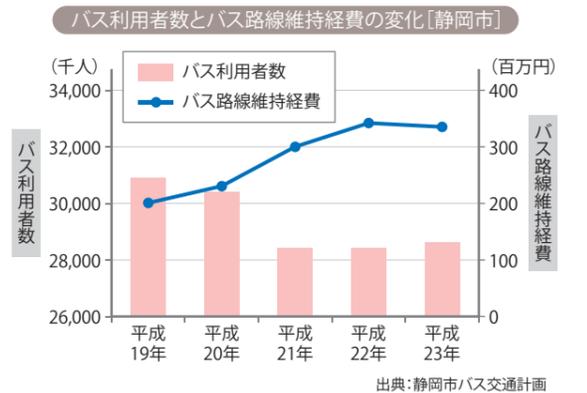
問題1 歩行者通行量の減少

静岡地区・清水地区ともに、長期的な傾向としては、歩行者通行量が減少しています。



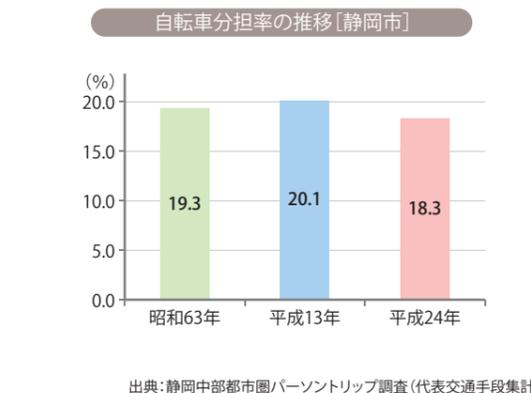
問題2 厳しい公共交通運営

利用者数の減少は運行収入の減少につながるため、路線の維持するための経費の増加をもたらす悪循環が生じています。



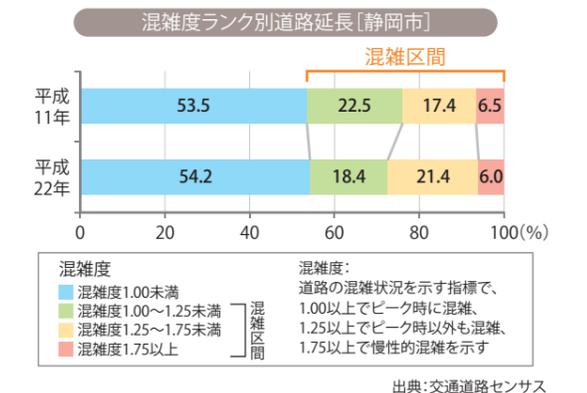
問題3 自転車利用率の低下

自転車は、健康や環境によく、短距離移送に適した交通手段ですが、約10年前と比較し分担率が低下しています。



問題4 道路の混雑

道路混雑は減少傾向にあるものの、道路全体の約46%で依然として混雑が発生しています。



静岡市の交通の
これらについて
一緒に考えてみよう！



平成28年4月
静岡市

ゾーン

都市計画マスタープラン

まちづくりのゾーン区分に対応した交通を計画します。

将来都市像

【集約連携型都市構造】
をめざして、
下記4つの基本方針を
掲げます。

計画概要

公共交通分野

方針1

公共交通網の再編
利用者数に応じた運行が可能な公共交通網への再編を図ります。

1

公共交通の
優先

魅力ある
都市拠点へ



都市拠点へのアクセス性向上や都市拠点内の回遊性向上を図るため、新交通(LRT、BRT等)の導入を検討します。

交通環境分野

方針2

公共交通を使いやすい環境整備
生活や観光等において、公共交通で移動しやすい交通環境の整備を推進します。

5

中心市街地の
交通環境整備

歩行空間を
楽しく



歩道を広くし、周辺の商業施設を充実させるなど、誰もが歩きたくなくなるような安全で楽しい歩行空間を創ります。

道路分野

方針3

拠点間のネットワーク化
拠点間を相互に連結し、利便性・安全性の高い道路交通ネットワークを構築します。

9

道路の快適性・
安全性の向上

歩行環境を
快適・安全に



歩行者の快適性・安全性を向上するため、駅周辺地区のバリアフリー化や通学路等における歩行者空間の整備を図ります。

活力

ひとが歩いて
楽しいまち

快適な移動や滞在ができるにぎわいのある中心市街地とするため、道路空間の活用を進めます。

生活

ひとが
公共交通に
乗りやすいまち

公共交通サービスを充実させ、移動環境の整備を進めます。

環境

ひとが自転車に
乗りやすいまち

環境負荷の低減や健康的な生活のため、交通環境整備を進めます。

交流

ひとが
出会えるまち

静岡市内外の交流を促進するため、交通環境整備を進めます。

都市拠点・地域拠点

利便性の高い市街地ゾーン

ゆとりある市街地ゾーン

自然調和ゾーン等

すてきなまちになりそう♪



2

公共交通の
利便性向上

公共交通を
利用しやすく



バスレーン設置やバス便数の増加により、より利用しやすい公共交通へ。市民だけでなく、来街者にとっても、移動しやすいまちになります。

6

歩行者・自転車の
交通環境整備

乗り換えを
便利に



主要な駅やバス停に駐輪場や駐車場を設置するなど、公共交通への乗り換え利便性アップをめざします。

10

道路網の整備による
交流機能向上

交流を活発に



市街地の良好な生活環境の確保や地域活力の向上のため、地域間をつなぐ幹線道路を整備します。

3

公共交通の
維持

公共交通の
確保



コミュニティバスなど、地域の暮らしに必要な公共交通サービスを確保します。

7

モビリティ・
マネジメント

自動車から
公共交通や自転車へ



環境面・健康面・安全面に配慮して、自動車に頼りすぎないまちへ。たとえば、パークアンドライドの導入など、移動手段の選択肢を増やします。

11

自転車走行
空間の整備

歩行者・自転車
空間の充実



歩行者空間・自転車空間を整備し、安全で健康的に暮らせるまちへ。また、高齢者が安心して出かけられるような交通環境を整えます。

4

公共交通の
利用促進

人にやさしい
公共交通へ



ノンステップバスの導入、運行情報の発信などにより、誰もが使いやすい公共交通をめざします。

8

観光を支援する
交通環境整備

観光交流の
サポート

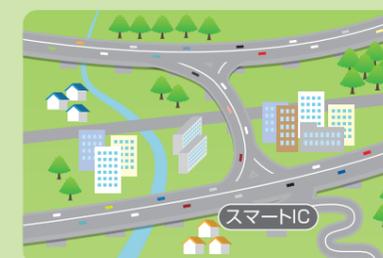


より多くの人々が快適に観光を楽しめるよう、観光地へのアクセス向上や周遊性を高める交通環境を整えます。

12

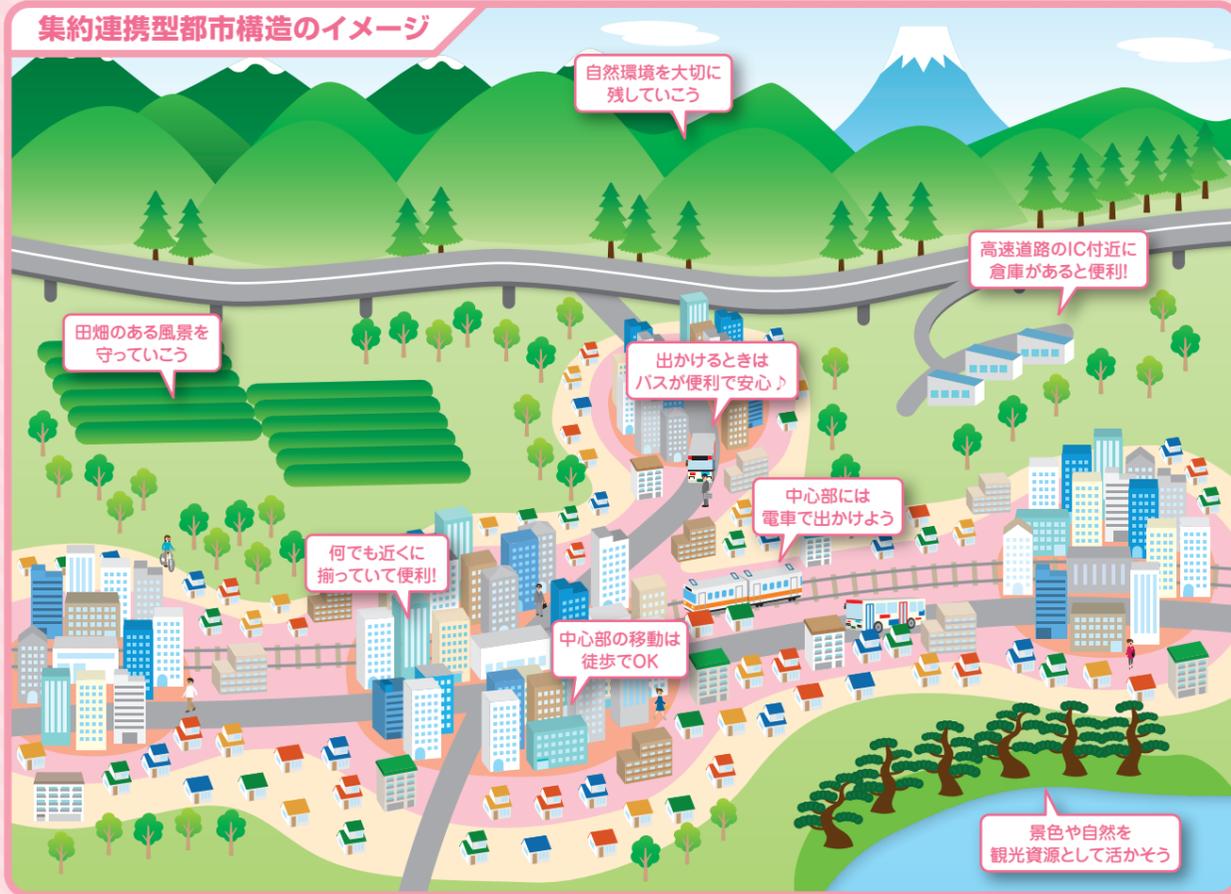
広域交通
ネットワークの強化

都市圏外との
連携アップ



スマートICの設置や広域道路の整備により、高速道路へのアクセスが向上。都市圏外との連携・交流がしやすくなります。

人口減少や市街地拡散などに対応するため、**集約連携型都市構造**をめざします。



めざす将来都市像を実現するため、まちづくりのゾーン区分に対応した交通体系の基本方針を以下のとおり定めます。

基本方針 **集約連携型都市構造** をささえる総合的な交通体系の構築
 新たな交流と活力を生み出し、活発な経済活動や安心・安全な市民生活を支えるため、快適で質の高いまちの拠点や拠点間等の交通環境を充実させます。

交流	環境	生活	活力	ひとが歩いて楽しいまち 中心市街地の活性化に資する交通体系の構築 快適な移動や滞在ができるにぎわいのある中心市街地とするため、道路空間の活用を進めます。	都市拠点 地域拠点	ゆとりある市街地ゾーン	自然調和ゾーン等
				ひとが公共交通に乗りやすいまち 良好な生活環境の形成に資する交通体系の構築 公共交通を充実させ、移動環境の整備を進めます。			
				ひとが自転車に乗りやすいまち 環境負荷が小さく健康促進にも寄与する交通体系の構築 環境負荷の低減や健康的な生活のため、交通環境整備を進めます。			
				ひとが出会えるまち 拠点間の連絡性向上に寄与する交通体系の構築 静岡市内外の交流を促進するため、交通環境整備を進めます。			

将来都市像実現のために
みんなできり組もう!



行政や企業の取り組みだけでなく、**市民のみなさんひとりひとりのご協力が必要です。**

取り組み 1 公共交通で移動する

こんなメリットがあります

- 決まった時刻に到着、移動時間の有効活用も可能
- 燃料費・駐車場代などのコストが不要
- 乗換えなどで歩く機会が増えダイエット・メタボ対策に
- CO₂が少なく地球にやさしい、省エネルギー
- 交通事故リスクの減少、仕事帰りにお酒を飲んでもOK

サイクル & バスライド

バス停に隣接した駐輪場まで自転車で来て、そこからバスを利用するシステムです。バス停から離れている方もバスが利用しやすくなります。

バスロケーションシステム

目的のバスがどこにいるのかお知らせするシステムです。バス停に行かなくても、携帯電話やパソコンなどでバスの位置を確認できます。また、電話の音声案内(IVRシステム)を利用してバスの位置を確認することができます。

取り組み 2 徒歩・自転車で移動する

こんなメリットがあります

- 適度な運動でダイエット・メタボ対策になる
- CO₂が発生しないため地球にやさしい
- 燃料費・駐車場代などのコストが不要
- 渋滞に巻き込まれないから時間が読める

取り組み 3 中心市街地や公共交通の便利な地域に住む

こんなメリットがあります

- 商業施設・公共施設・病院などが近くにあり、徒歩でも移動できる
- 車なしでも生活できるので、燃料費・駐車場代などのコストが不要
- 移動が少ないので時間が有効活用できる

お問い合わせ先
静岡市 都市局 都市計画部
交通政策課 企画係
TEL 054-221-1471 / FAX 054-221-1060

このパンフレットは、市民のみなさまに交通の現状や計画の内容をご理解いただくために作成したものです。



4 公共交通の利用促進

3 公共交通の維持

2 公共交通の利便性向上

7 モビリティ・マネジメント

11 自転車走行空間の整備

9 道路の快適性・安全性の向上

1 公共交通の優先

6 歩行者・自転車の交通環境整備

5 中心市街地の交通環境整備

12 広域交通ネットワークの強化

10 道路網の整備による交流機能向上

8 観光を支援する交通環境整備

左の表とリンクさせてご覧ください

- 都市拠点・地域拠点
- 利便性の高い市街地ゾーン
- ゆとりある市街地ゾーン
- 自然調和ゾーン等

**将来の
交通イメージ**

● 移動が便利で歩いて楽しいまちをめざそう!

※P&BR…パーク&バスライドのこと。
自宅から自家用車で最寄りのバス停まで行き、車を駐車させた後、バスを利用して都心部の目的地に向かうシステム。

走りやすいからどこへ行くにも自転車です

歩いているだけで楽しくなる空間だね

バスレーンがあるから渋滞しないんだ

バスが使いやすくて助かっています

車のときはこの道が早くて便利!

歩きやすくて安全だからいいよね

新交通のおかげで移動がラクチン!

レンタサイクルでいろんな観光地を巡ってみよう

バスがあるからまちに出るのが便利なの

P&BR*にしてからバス乗車中は読書を楽しんでいます